

## “チームたぬき”、活動2年目の挑戦！ パラリンピアンとスポーツを楽しもう♪ ～都立田無特別支援学校放課後子供教室の事例より～



東京都には、都立特別支援学校を会場として実施されている放課後子供教室があります（平成28年度は13教室）。

今回紹介する都立田無特別支援学校放課後子供教室は、“チームたぬき”という保護者有志と教員を中心に組織された任意団体により運営されています。平成27年度から放課後子供教室を始め、今年度は2年目の活動です。

都立田無特別支援学校は、高等部だけの学校です。学校には部活動がありますが、障害の状態により部活動に参加できない生徒もいます。余暇活動の必要性を感じた保護者から、生徒が慣れ親しんでいる学校を会場として、より多くの生徒が参加できるクラブを実施することはできないか、という要望がありました。

そこで学校は、比較的誰でも楽しめる和太鼓に着目し、その中でも「自由打ち」という型にはまらない打ち方ができる八丈太鼓を活用した放課後活動を提案しました。民間の太鼓サークルから指導の御協力もいただき、任意団体“チームたぬき”が組織され、放課後子供教室をスタートすることとなりました。（ちなみに、“チームたぬき”という名称は、“田無”という校名と、“太鼓：たぬきの腹鼓”を掛け合わせたものだそうです。）

2年目の今年度は、太鼓のプログラムだけではなく、活動の幅を広げることに挑戦し、スポーツのプログラムを企画しました。



「夢が一番のエネルギー」  
と上原さん

### パラリンピアンとスポーツを楽しもう♪-ダブルダッチ&イモムシラクビー-

講師の上原大祐さんは、バンクーバーパラリンピック銀メダリストです。“障がい者と健常者が時間を共有する場を創ることで、誰もが夢を持って挑戦する社会を創造する”を目標に、NPO法人D-SHIP32（ディーシップスミニ）を設立し、誰もが参加できるスポーツ交流活動を支援しています。

今回は、“チームたぬき”から相談を受けた（一社）日本アスリートセラピスト協会（※）の紹介により、放課後子供教室で、ダブルダッチとイモムシラクビー（注）を楽しむプログラムを実施しました。

D-SHIP32のスタッフは、障害のある子供のスポーツ活動支援に慣れており、ダブルダッチでは、個々人の障害に応じてアドバイスをし、縄をゆっくり回したり、テンポよく回したりしてくれます。「跳べた！跳べた！」と、顔を上気させ、何度も列に並ぶ参加者もいます。タイミングが合わずに、立ち止まってしまっても、スタッフの掛け声で再チャレンジし、1回でも跳べると嬉しそうにまた列に並びます。

イモムシラクビーは、全身運動です。専用のウェアを着用し（↓写真参照）、体をくねらせて移動します。上原さんから動く方向の指示が出ますが、ウェア着用により体の動きに制限を加えられるため、なかなか思うように進めません。思わず、対戦相手と顔を合せて苦笑している参加者もいます。

障害があってもなくても、子供も大人も一緒に参加し、励まし合いながら初めてのスポーツに挑戦する楽しい時間を持てたプログラムとなったようです。

“イモムシラクビー”、汗だくになりました。 上原さんが車イスで“ダブルダッチ”を披露しました。

（注）イモムシラクビー  
年齢・性別・運動神経に関わらず、だれもが楽しめる新スポーツである“ゆるスポーツ”の一種。専用のイモムシウェアを着用して、ほふく前進、ゴロゴロと転がることでボールを運びます。

【世界ゆるスポーツ協会】

<http://yurusports.com/>



### ※支援団体：一般社団法人日本アスリートセラピスト協会

日本アスリートセラピスト協会は、「アスリートに最高の休養を」という理念の浸透を目指し、多くのトップアスリートや国内トップレベルのチームと共に、トリートメントを中心としたケア活動を実施する団体です。

そのネットワークを活かし、アスリートと教育現場を繋ぐ“ENJOY SPORTS PROJECT”を主宰しています。このプロジェクトは、未来を担う大切な子供達やその家族が、スポーツを「知る」「触れ合う」「楽しむ」「続ける」ためのキッカケや場を創造し、スポーツを通して日本を元気にするプロジェクトです。